

令和7年度第5回志摩市総合計画審議会議事概要

日 時 令和8年 2月4日(水)
午前10時～午前11時
場 所 志摩市役所 4階 401・402 会議室

出席者(順不同・敬称略)

(1) 審議会委員(16名)

齋藤平(会長)、南二三四、前田正典、山形美弥子、出口勝美、井上恵子、
山川範恭、谷口博俊、竹内隆典、西尾亮、中井明香、塩本智幸、松尾誠祐、
高岸三枝、柘植規江、東知恵

(2) 事務局(3名) 堀尾清策、坂井陽、米奥宏規

傍聴者…1名

【事務局】

ただいまから第5回志摩市総合計画審議会を開催いたします。委員の皆さま方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、事務局より一点ご報告申し上げます。本審議会の副会長を務めていただいております、志摩市自治会連合会の柴原伸行様が、去る1月23日にご逝去されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

【齋藤会長】

柴原様には副会長として、本審議会において多大なるご貢献をいただきました。つきましては、柴原様の生前のご功績を偲び、出席者の皆さまと共に黙とうを捧げたいと思っておりますがいかがでしょうか。よろしく申し上げます。

—黙とう—

ありがとうございました。

【事務局】

それでは、あらためまして、開会にあたり、齋藤会長より、ご挨拶をいただきたいと思っております。

事項書1. あいさつ

【齋藤会長】

今回5回にわたり、総合計画審議会では様々なご意見、ご提言をいただいておりますが、最終案がまとめられることになりましたので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

本日の審議会ですが、16名の委員の皆さまにご出席いただいております。志摩市総合計画条例第11条第3項の開催要件を満たしておりますので、本審議会は成立してございますことをご報告いたします。また、本審議会の進行ですが、同条例第11条第2項の規定により、ここからの進行は齋藤会長にお願いしたいと思っております。それでは、齋藤会長よろしく申し上げます。

事項書 2. 議事（1）志摩市総合計画（2026～2033）前期基本計画（案）について

【齋藤会長】

それでは、議事に入ります。事項書の（1）志摩市総合計画(2026～2033)前期基本計画(案)について、事務局から説明をお願いします。

[事務局説明]

《資料 1 志摩市総合計画(2026～2033)前期基本計画(案)》

《参考資料 1 第 4 回審議会意見に対する回答一覧》

《参考資料 2 パブリックコメント（意見募集）結果》

【齋藤会長】

事務局から説明があったところですが、ただいまの説明についてのご意見・ご質問等がありましたら、ご発言いただければと思います。

これまで議論いただいた点について、反映されているかというように文言の修正等ありましたらお願いします。

－意見なし－

それでは、特にないようですが、本案について、審議会としてご了承いただけるということでしょうか。それでは、本案について、総合計画審議会としては、ご了承いただいたものとさせていただきます。

事項書 2. 議事（2）志摩市総合計画審議会から市長への答申（案）について

【齋藤会長】

それでは、事項書の（2）志摩市総合計画審議会から市長への答申（案）について、事務局から説明をお願いします。

[事務局説明]

《資料 2 志摩市総合計画審議会から市長への答申(案)》

【齋藤会長】

ただいまの説明について、ご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

－意見なし－

それでは、本答申につきましては、お認めいただいたものとさせていただきます、代表して、私から市長へ報告をさせていただきたいと思っております。長い期間、時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。

事項書 2. 議事（3）その他

【齋藤会長】

それでは、(3) その他ですが、今回で最終回ということですので、審議会を通してのご感想、あるいは、総合計画の用い方等、ご意見ありましたらお願いしたいと思うのですが、南委員さんから順番に一言ずつで結構ですので、お願いします。

【南委員】

資料を見させていただいて、感じたことがあります、10 ページの地方創生の推進の件なのですが、人口減少に関するところで、ここに転入転出者数の現状値が、令和6年にマイナス 236 人になっておりますが、目標値として令和11年にはマイナス 30 人ということになっているのですが、この表は、何か根拠があって入れた部分なのか、改善する要因があるのでしょうか。

【事務局】

10 ページに数値目標を書かせていただいているのですが、数値目標の下に※印で、「志摩市人口ビジョンにおいて、令和12(2030)年に、転入転出の均衡(転出超過数0人)をめざす中、令和11(2029)年の目標値をマイナス30人と設定。」と書かせていただいております。総合計画の他にも志摩市人口ビジョンという、人口の動きをとらえて、その人口のめざす姿というような部分を定めている計画書があるのですが、その中で、令和12年に転入転出を均衡させたいというような目標をおいております。長期的な視点でビジョンを描いておまして、2070年という45年ぐらい先の話になりますが、45年ぐらい先を見たときに、志摩市としてある程度のまちの人口規模を確保するためには、なるべく早く、人口減少対策に取り組まないといけない。そこから逆算していったときに、令和12年ぐらいには、転入転出の均衡、つまりなるべく社会減というものがないような状態にしていかないと、ものすごい勢いで加速して行って、一時期、人口減少で消滅するまちが出てくるというような話があったと思うのですが、放っておくとそのようなこともあり得るという中で、そうならないようにするためには、逆算していくと、令和12年には社会減がないような状態にしていきたい。それをめざしていくということを定めています。その根拠はというよりも、むしろ、そのためにこれからそこに向かって何をやらないといけないのか、ということ逆算して積み上げていくということがこれからやっていかなければならないことです。市としては、ここに向かってやっていきますというようなことを宣言させていただいているというのが、ここに数値目標を書かせていただいている意味になります。

【南委員】

私が知りたいのは、計画して考えてくださっているとは思いますが、このマイナス30人という数字を出すためには、計画的なことはたくさんあると思うのですが、そのためには、どのようなことをしていくのか、どうしたらそうなるのかというようなことが、わかっている書かれたことなのか、そういうところが知りたいです。

【事務局】

その部分を今回計画の中で位置付けた上で、今までもここに書かせていただいている地方創生の取組を進めさせていただいてはいたのですが、それをさらに強化していくということです。今市役所の中でも、人口減少対策の取組をさらに進めていくためのプロジェクトチームというものを持ち上げて、来年度以降の具体的な取組について今検討を始めているところです。これまでやってきたのですが、今この目標に向かって、さらに取組を進めていくためのことを検討するところです。

【齋藤会長】

総合計画の全体が、その通りに実行されるとこの数値目標に到達するということをめざして、この計画が立てられているので、そこに示されている数値目標であったり、課題の解決であった

り、そういうことがすべて解決することは難しいかもしれませんが、それに向かって、市が行政を進めていくと、この目標値のマイナス 30 人に到達できるはずだということになっています。

【前田委員】

最終ということで、改めて 1 から全部読み直して、もう一度自分なりに理解したつもりではあります。皆さんこの場で様々な議論をしていただいていたことがありがたかったと思っています。それぞれのポジションで、自分の立場としての部分、それから志摩市の将来をどういう方向性を示したらいいかということも、皆さん考えていただいた結果かと思っていますので、ありがとうございます。

【山形委員】

私は、初めてこの会議に参加させてもらったのですが、5 回終了しましたが、未だに何を聞いていても難しい言葉が出てきて、わからないこともたくさんありますが、用語集をつけていただいて、とてもわかりやすいと思います。市民の方みんなが、見やすいように、私的にはもっとわかりやすい言葉で書いていただけると助かると思います。ありがとうございます。

【出口委員】

途中欠席をしております、大変申し訳ありませんでした。

今回最終ということで、今、志摩市総合計画の前期の基本計画案並びに答申案のご説明をいただきまして、私も賛成をするところでございます。その中で、答申案につきまして、4 つほど提案をされました。どれも大切ないい提案だと思いますが、その中でも、4 番の本会議の審議過程において、議論された個別具体の取組に対する意見や提案等を考慮し、各種施策の推進に努めてほしいということでございます。審議会では個別の議論があったように思っております。そのことにつきまして、今後、十二分に将来に向けて検討を重ねていただきたいと思います。その中におきまして、私ども志摩市は、ご存じのように、大きな面積を持っております。14 市 15 町の中においても 15、6 番目の土地を保有しております。178.93 km²の土地を保有しております。これが、伊勢志摩国立公園指定が今年 80 周年を迎えるというようなことです。全域が国立公園法に指定されており、リアス式海岸の全景が大変魅力であり、同時に自然と海の恵みがあるという、私どもの志摩市です。そんな中におきまして、この志摩市の土地を海外の方が求めているということをごらほら聞きます。そこら辺を今後十二分に考慮していただいて、安全安心な暮らしができる志摩市に将来的にしていきたいと思っております。

【事務局】

外国人の土地の取得に関しては、現在のところは原則自由ということになっているのですが、国の方としましては、安全保障の観点から規制の強化等といったところの議論や検討が進んでいるとは聞いております。そういった国の動きも見ながら、対応を考えていきたいと思っております。

【井上委員】

観光の方からなのですが、年間たくさんの方が志摩市を訪れてくれているわけですが、その時に訪れてよかった、ここに住みたいと感じていただいて、人口が増えていけばいいと願っております。そのためには、整備も大変だと思いますが、まず 1 番に南海トラフが言われています。海が綺麗な分、災害のリスクも高いと思うので、災害などの支援もまた考えていただきたいと思います。たくさんの方が訪れて、人口が少しでも増えたらいいなと思っております。一方、不安なこともありまして、浜島町でも外国人の方が土地を買われているようなので、少し危機感を感じております。その辺もよろしくお願ひします。

【山川委員】

これからこの総合計画に基づいて具体的なことを決めていくと思うのですが、この 15 ページ、水産業の振興のところの一番下、漁業に関わる新たな担い手の目標値が令和 11 年度に 12 人と書いてありますが、今志摩市で、新たに新規漁業就業者の支援補助金という制度がありまして、その上限が現在 30 万円です。それで、機械化が進んでいまして、機械が高くなっているんで、今後こういう補助金をできれば、どれだけでも上げてほしい。要望になります。お願いします。

【谷口委員】

真珠養殖においても、他の水産業の方と一緒に、人手不足、担い手不足、これが 1 番の問題になってきています。主な取組の方向性として、担い手確保と育成などの記載がありますので、個別の施策で上手く連携して行っていけたらと思います。お願いします。

【竹内委員】

この計画の中で、2 ページの方に PDCA サイクルのことが書かれているのですが、毎年度、数値目標、実績目標を取りまとめて報告をいただくということになっているので、そうすると、審議員の皆さんには、何らかの形で、実績の推進結果をお知らせいただけるのでしょうか。

【事務局】

この総合計画審議会につきましては、今回が最後というような形になります。前回の会議でもご説明させていただいたのですが、これまでの総合計画審議会というのは計画を作るまでが審議会の役割となっていました。今後については、他にも政策関係の審議会というのが 2 つほどありますので、その辺を整理・統合いたしまして、また来年度新しい審議会を立ち上げさせていただきたいと考えています。その中で総合計画の推進について委員の皆さまにご説明させていただきながら、推進させていただければというように考えています。

【西尾委員】

この新たな志摩市総合計画の策定の答申についてなのですが、ここに書かれているように 1 番目の「選択と集中」、2 番目の「周知」、3 番目の「可視化」というのは、本当に大事なところが書かれていて、4 番目はまとめて書いてあるわけなのですが、前も言いました。財源の確保というのが 1 番大事なことだと思います。ここを皆さん忘れていただくと、絵に描いた餅というか、何もできないということになってしまう。予算が半分しか確保できなかったとなると半分しかできなくなってしまいますので、それだけはないようにしていただきたい。橋爪市長をはじめ皆さんが、東奔西走されてトップセールスで橋爪市長も頑張ってくれていますが、ここが 1 番大事なところだと思いますので、ぜひとも職員の皆さん、また市民の皆さん、一致団結して予算の確保に動いていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

【事務局】

まさに西尾委員のおっしゃる通り、予算がないと事業を進められません。まさに今、新年度予算に向けて、事務を進めているところではあるのですが、財源確保というのが 1 番のメインというところで、市だけの財源でできないということもあるので、国・県などあらゆるところの財源を確保して事業構築することが至上命題となっております。その部分については職員も意識して取り組んでいるところですので、よろしく願いいたします。

【齋藤会長】

伊勢市の職員の方から聞いたのですが、「志摩市は、県の会議とかで一緒になると、このことについて予算をつけてもらいたいというのを必ず一言おっしゃって帰られると、私たちも見習わないといけない」と言っていましたので、一生懸命そういう活動をされていると思います。

【中井委員】

5回あった中で参加できないときもあり、申し訳なかったと思っています。

色々な分野で問題を解決、議論しながら未来につなげていくことに参加させてもらって、勉強になったと思いました。意見というのは特になかったのですが、自分としては1歩遅れてなのですが、この会議をまた振り返って考えてみたいと思いました。

【塩本委員】

皆さんおっしゃった通り、今回で最後、出し尽くした感というか、非常に細かいところまで反映していただいて、お礼を申し上げる次第でございます。齋藤会長名で答申案を作っていただきました。特にこの4つの特記事項に全部集約されていると、事前資料を拝見して感無量でございます。そこにおいて、細かいことを全部述べるのではなくという意見もございましたが、やはり、市民や様々なアンケートが不足する部分もあったかと、例えば、若い人たちのアンケートが多かったのですが、それまでまちをつくってきた人たちの、いわゆる諸団体であるとか、あるいは自治会のご意見がなかった。意見交換会はずっとされてこられたのですが、そちらの部署からのデータがなかったということで聞き及んでいます。そういったところも含めて、各部署での連携をもっと強化していただいて、今回の計画を進めていただきたいと、そこから予算化されていく部分が充実したものになるのではないかと考えております。志摩市のみならずですが、若い人たち、特に企業の承継者、こういう方々がこれからを担っていただくわけですが、その他にも、今申し上げた通り、様々な団体、市民とかとの連携を深めていただくということが、どの市町も重要視されていますので、育てやすさ、学びやすさ、働きやすさ、住みやすさ、これが全部共存できる、理想の魅力あるまちづくりを協力していただいて実現していただきたいというように願う次第でございます。素晴らしい審議会だったと思っております。

【松尾委員】

5月から約1年間ありがとうございました。というのと、一市民としてこの志摩市総合計画というものに携わることができたということで、非常に良い経験をさせていただきましたと個人的には思っております。本来、私どもはまちづくり団体になりますので、こういったことを知れたということで、改めてまちづくり運動というものを一市民の立場から、志摩市の総合計画に沿ってできるようなものを会に戻って持ち帰りたいと思っております。

【高岸委員】

改めてこの1年間どうもありがとうございました。

先ほどおっしゃっていたと思うのですが、私自身もこのようなたくさんの色々な分野の方々と出会わせていただきまして、それぞれの熱い思いを聞かせていただくことが非常に私自身の栄養にさせていただいて、小さい世界で自分は生きてまいりましたので、ありがたい経験だったと思っています。

先程来あります、答申案の4つの事項について、1番目に書いていただいております「選択と集中」という言葉に私自身心動かされるものがあります。限られたお金の中で、みんながどのようにすれば幸せになれるのかというところで、みんなが痛みを伴う中身だと思いますが、少しずつ痛み分けをして、こちらは我慢ができるが、こちらはどうかというようなことで、実現していくためにそれぞれの痛み分けということが必要なのではないかとことを改めて感じさせていただきました。学校の方は志摩市教育委員会が掲げている、特に教育長が常々おっしゃっている、こどもたちのために、こどもたちにとってという視点で、たくさんの意見を届けさせていただきましたが、それを可能な限り反映していただいたと思って感謝しています。私自身この経験を踏

まえて、また市民の1人として、小さな責務を果たしていきたいと思います。ありがとうございました。

【柘植委員】

私もこの度参加させていただきまして、色々とまとめていただきまして、ありがとうございました。

私は国立公園の管理という立場で参加させていただきました。先ほど出口会長がおっしゃってくださいましたが、志摩市全体が国立公園ということで、大勢の方が住んでいらっしゃる、伊勢志摩国立公園というのは人の暮らしと自然とが繋がっているというのが魅力あるところです。その暮らしを支える総合計画ということで、色々な分野で色々なお話を聞くことができ、私も大変勉強になりました。

今年、国立公園80周年ということで、今後90周年、100周年というのを迎えていくにあたりまして、私たちとしてもこの計画に沿いながら、国立公園の計画というのを具体的に進めていきたいと思っております。これからもよろしくお願ひします。

【東委員】

審議会は初めてのことで緊張しました。この会議の進め方なのですが、時間は限られているのですが、18人委員がいる中で、大きな場で発言したり、細かい物事を審議したりするのはなかなか難しいのではないかと思います。もしできれば、10分とか、基本目標の1から4まであって、専門分野で皆さん意見を持っていらっしゃると思うので、部会で少し話し合っ、その中でこういった細かい意見が出ていますということを出言できるような形式にさせていただくと、もっと中身の濃いものになるのではないかと思います。

今回、このような会議に参加させていただきまして、市のことや、将来に向けて危機感を持っていることが色々内容がわかって、とても勉強になりました。普段私たちは、イベントの企画や、子育てサークルをしているのですが、自分たちが若手の世代として、人口をどのようにしていったら流出していかないように、転居していく人たちをくい止めることができるのかなと思ひました。今後そういった視点でも何か活動していかないと、このままでは、こどもがいなかったり、転居していったりしてしまうと、せっかくこういった計画でいいまちにしていこうと思うのに、そういった実情のところを考えさせられる機会となりました。ありがとうございました。

【事務局】

先ほどの審議会の運営のあり方についてなのですが、実は、柴原副会長がお亡くなりになる前に、審議会運営のあり方についても、色々、こういう工夫をしたらどうかと、そういったことのご提案をいただいております。先ほど申し上げたように、来年度以降、新たな審議会を立ち上げる中で、我々自身も従来のやり方をずっと行ってきましたが、志摩市として20年経った中で、もう少しいいやり方を考えていく必要があるのではないかと感じております。そこら辺についても、実はこの審議会とは別に行政改革推進委員会という審議会があるのですが、そちらの審議会の中でも、「他所の自治体ではこのような審議会をやっています」など、ご紹介をいただいたこともありました。どのようにすれば、市民の皆さんの意見を上手く引き出せるのか、議論を活発にできるのか、考えさせていただければと考えております。

【齋藤会長】

皆さんから貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。

私は振り返ってみますと、高等学校の頃に、先輩後輩含めて志摩市から通っていた人がたくさんいたのですが、今志摩市に帰ってきている、あるいは住み続けているという人が、数えてみると

ほとんどいないのです。やっぱり志摩市は、高校や大学で外へ出ても、また戻ってくるという志摩市をこれからはぜひ作っていただきたいという思いで、この総合計画審議会に出席をさせていただきました。出ていってしまっている彼らの代わりに何かふるさと志摩市に恩返しができないかという気持ちでおりました。今後、また行政の方でこの総合計画に基づいて、それぞれの取組が行われていくことと思いますが、ぜひ持続可能な志摩市が実現しますことをお祈りいたしております。ありがとうございました。

それでは、事務局から何かありましたらお願いします。

【事務局】

補足説明になるのですが、先ほどお認めいただきました答申書につきましては、来週2月10日に齋藤会長から橋爪市長へ手交いただく予定で調整しております。また、本計画案につきましては、2月下旬に開催予定の令和8年第1回市議会、定例会に議案として提出し、市議会の審議と議決を経て、3月末頃に策定という流れになっております。

審議会委員の皆さま方におかれましては、お忙しい中、5月の審議会設置から本日まで長期間にわたりご協力いただきまして、ここに改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。以上となります。

【齋藤会長】

それではこれもちまして、第5回志摩市総合計画審議会を終えさせていただきます。ありがとうございました。